

11	小国114
学图	

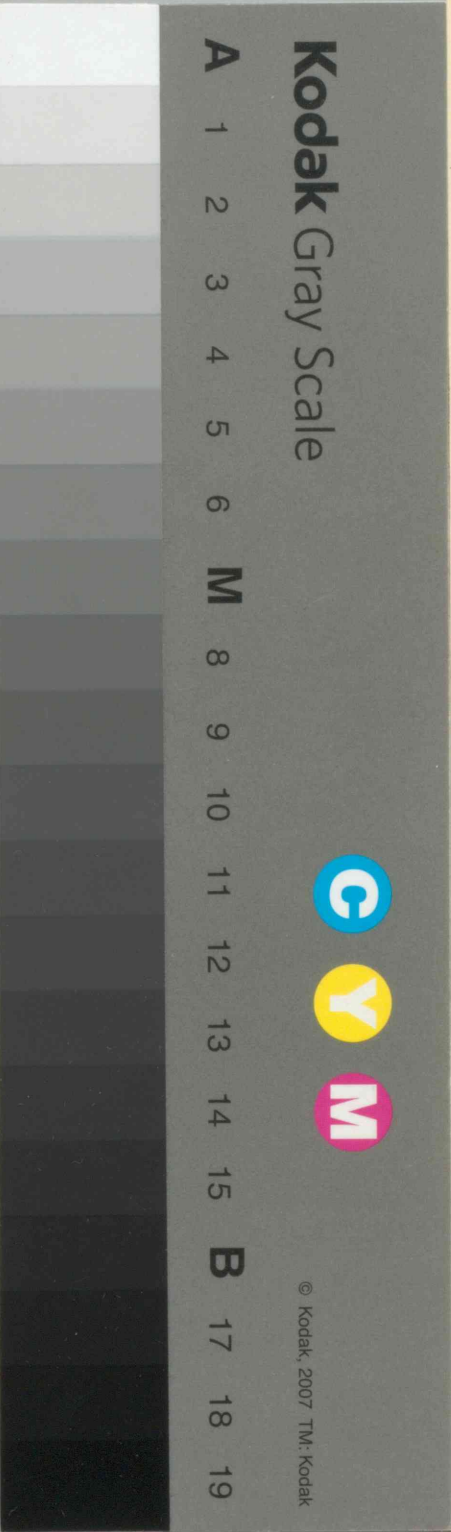
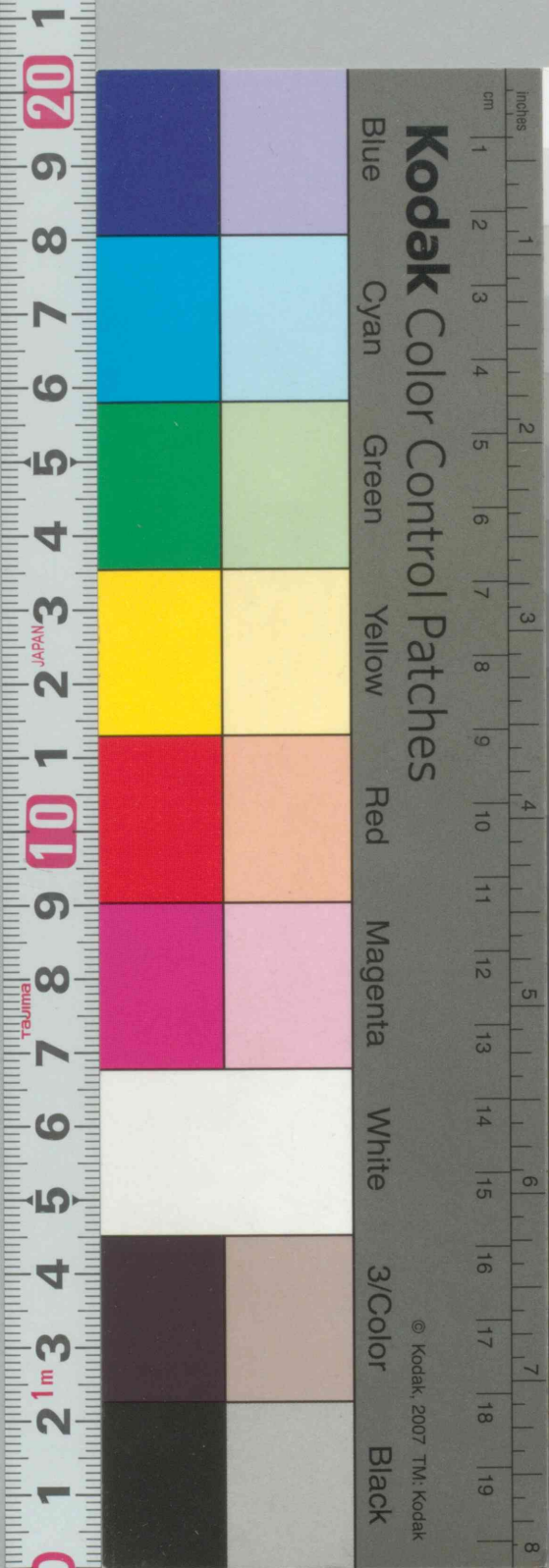
教科書文庫
6
810
34-1949
0130449925

文部省
検定
人団
日本
新教育
研究
会
教科書
修



学校図書株式会社発行

小KC
916



60331

60331

教科書文庫

6
810
34-1949
01304 49925



寄 贈

昭和二十四年十月十日文部省検定済小学校国語科用

教科書文庫
6
810
34-1949
0130449925

中央図書館

広島大学図書

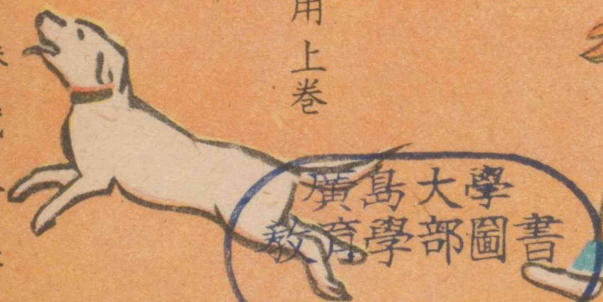
0130449925



こ
く
ご

第一学年用上巻

学
校
図
書
株
式
会
社

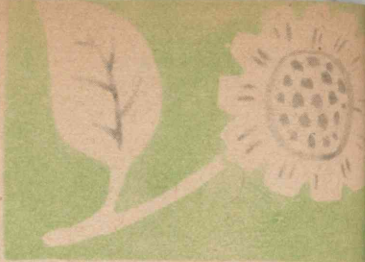


広島大学
教育学部図書

広島大学図書

0130449925





もくろく

一、たのしい がっこう

二、ともだち

もう いいかい

がっこうごっこ

しろ

三、えんそく

(一) あしたは えんそく

(二) きょうは えんそく

(二) おかあさんに する おはなし

(三) ともだちと する おはなし

(四) えほんの おはなし

にくを くわえた いぬ

しろと ぼうし

六、ことばあそび

(一) しりとり

(二) ことばつなぎ

(三) もじならべ

(三) えんそくの おはなし

四、なつやすみ

(一) うみ

(二) なみ

(三) ほたる

(四) につき

五、おはなししましゅう

(一) せんせいに する おはなし

(四) おもしろい ことば

(五) 「あ」の つく ことば

(六) えの ある おはなし

五十おん

おけいこ

かんじ

あたらしく できた ことば

30

33

34

36

38

39

43

44

61

62

64

65

66

68

72



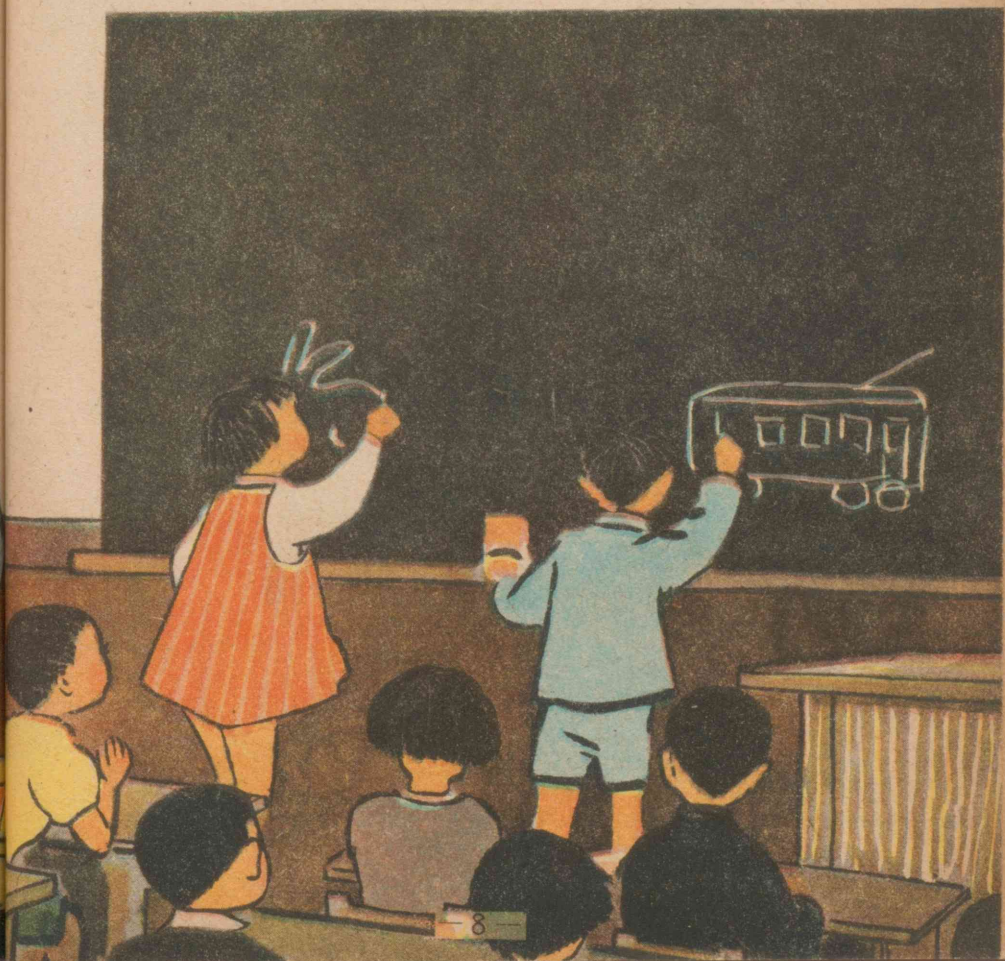


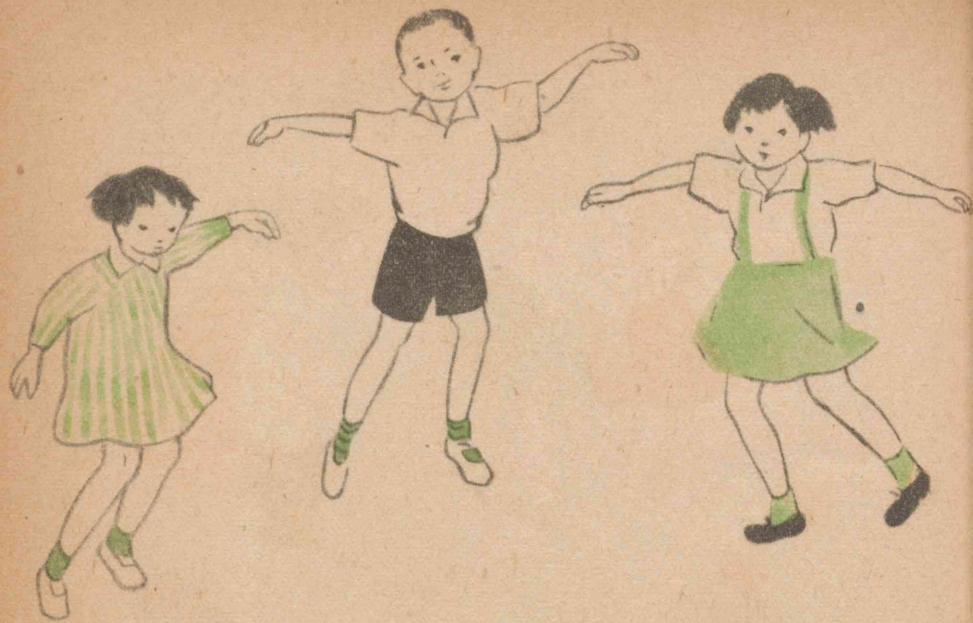
すべりだい。
すべる、
すべる、

うさぎ、
うさぎ、
うさぎ。
はるえさんが、
うさぎの
えを かきました。
はるえさん
うまいな。



でんしゃ、
でんしゃ。
としおさんが、
でんしゃの
えを かきました。
としおさん
うまいな。





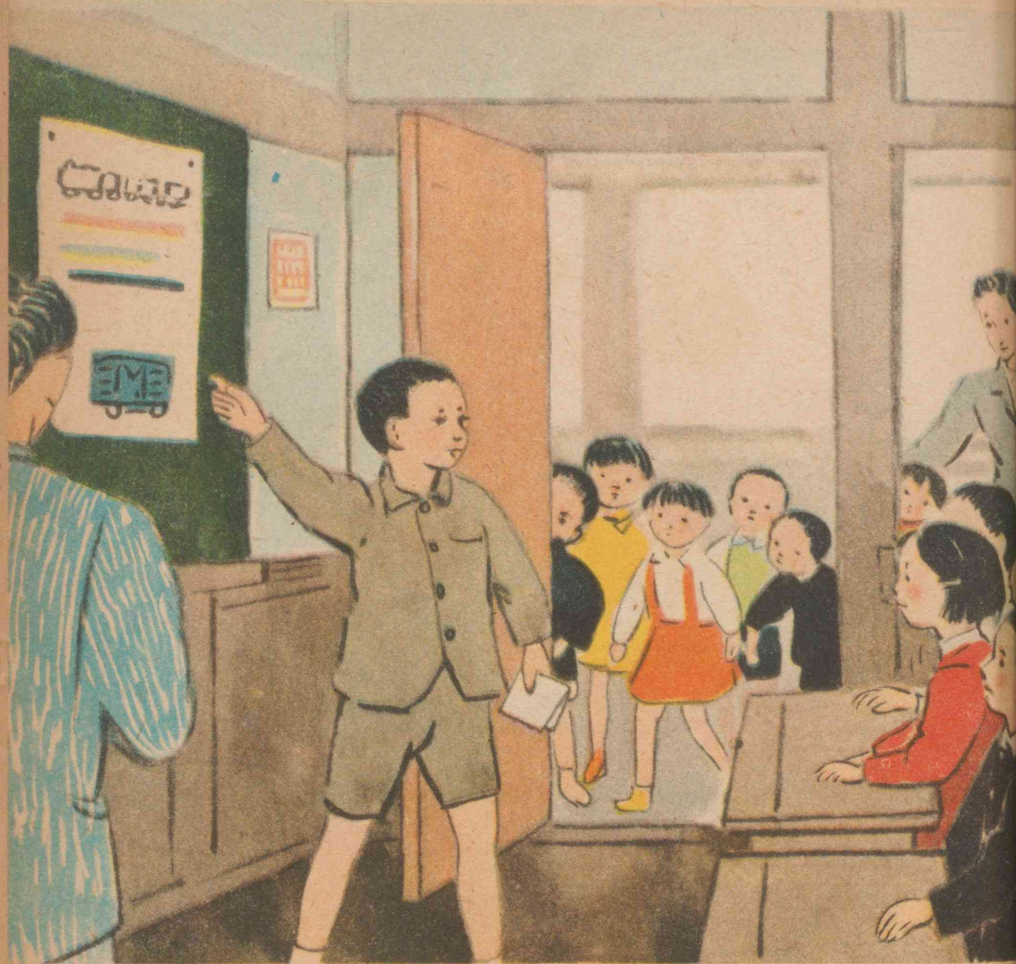
としおさんが、
「ぴよん ぴよん
うさぎ。」
と いました。

はるえさんが、
「うさぎさん、
おいで、おいで。」
と いました。

ちようちよう、
ちようちよう、
ちようちよう、
なのはに
とまれ。

ちようちよう、
ちようちよう、
ちようちよう、
なのはに
とまれ。





あら、
 はるえさんの
 にいさんよ。
 はるえさんの
 はいさんが、
 おはなし
 して いるよ。



あかい はな、
 しろい はな。
 あかい はな、
 しろい はな。
 みんなで よっつ。
 みんなで むっつ。
 しろい はな、
 みんなで むっつ。

二、ともだち



「せんせい、
さようなら。」
「せんせい、
さようなら。」
「みなさん、
さようなら。」
「せんせい、
さようなら。」



もう
いいかい

じゃんけんぽんよ、

いし、

かみ、

はさみ。

じゃんけんぽんよ、

かみ、

かみ、

はさみ。

もう
いいかい。

まあだだよ。

もう
いいかい。

まあだだよ。

もう
いいかい。

もう
いいよ。



がっこういっしょ

「はるえさん。」

「はい。」

「しげるさん。」

「はい。」

「しろ。」

「わん わん。」

「よしこさん。」

「はい。」

「あら、おやすみも なくては、

「おかしいわ。」

「しげるさん。」

「おやすみです。」

「はるえさん。」

「おやすみです。」

「けんちゃん。」

「おやすみです。」

「あら、おやすみばかりでは、

「おかしいわ。」





三、えんそく

しろ
 「しろ、しろ、
 しろ こい。」
 しろは
 しっぽを ふって、
 はしって くる。
 わたしが はしると、
 しろも はしる。





(二) きょうは えんそく

「おとうさん、

いってまいります。」

「いっていらっしやい。」

「おかあさん、

いってまいります。」

「いっていらっしやい。」



(一) あしたは えんそく

うれしいな。

あしたは

えんそく。

うれしいな。



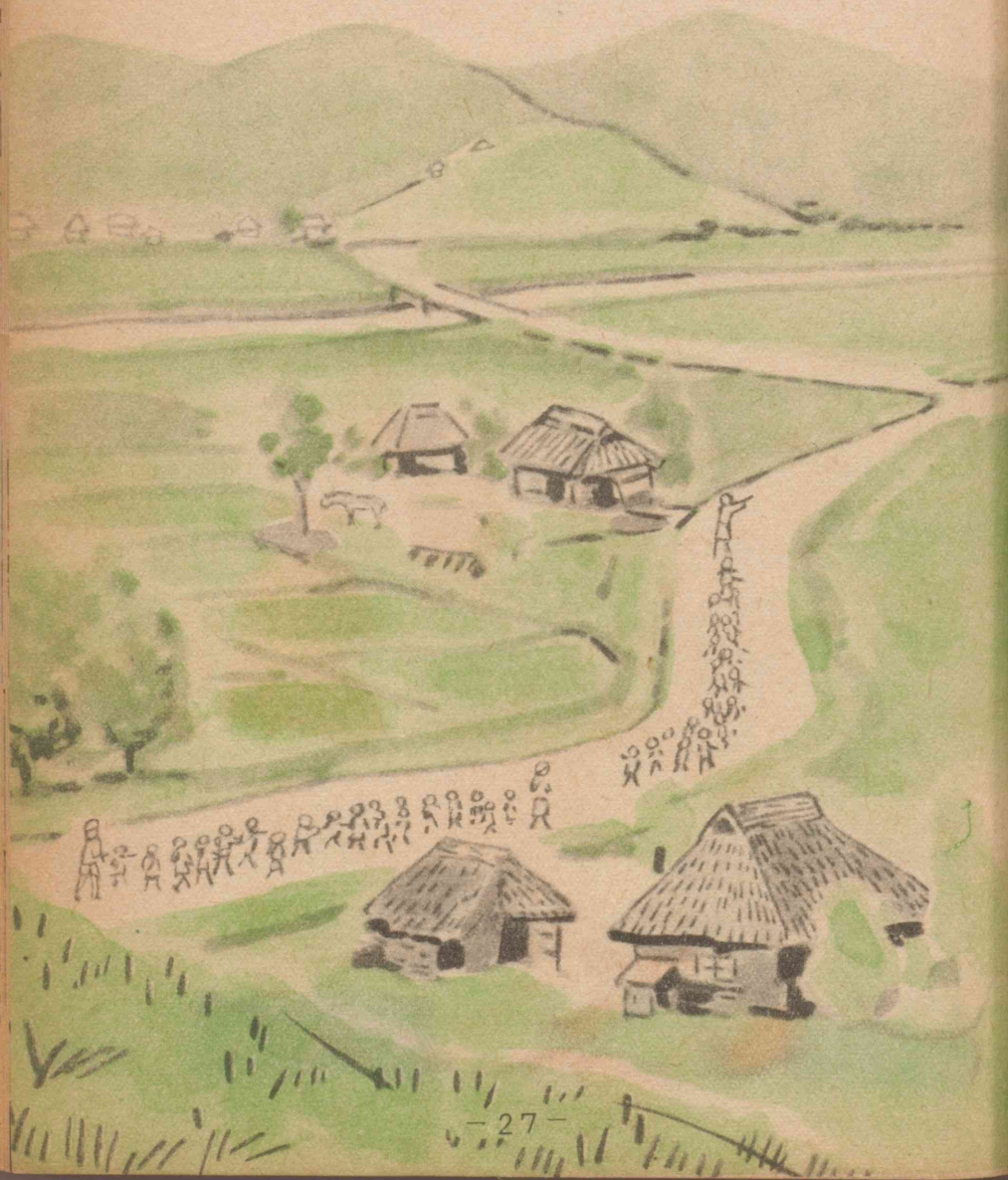
のはらを とおって、
かわへ いきました。
かわには、
めだかが
およいで いました。
めだかを
とって あそびました。



また、
のはらを とおりました。
みんな、
おはなしを しながら、
あるきました。
めだかの
おはなしを しながら、
あるきました。



むらも、
 あおば。
 こちらの
 もりも、
 あおば。
 みんな、
 あおば、
 あおば。



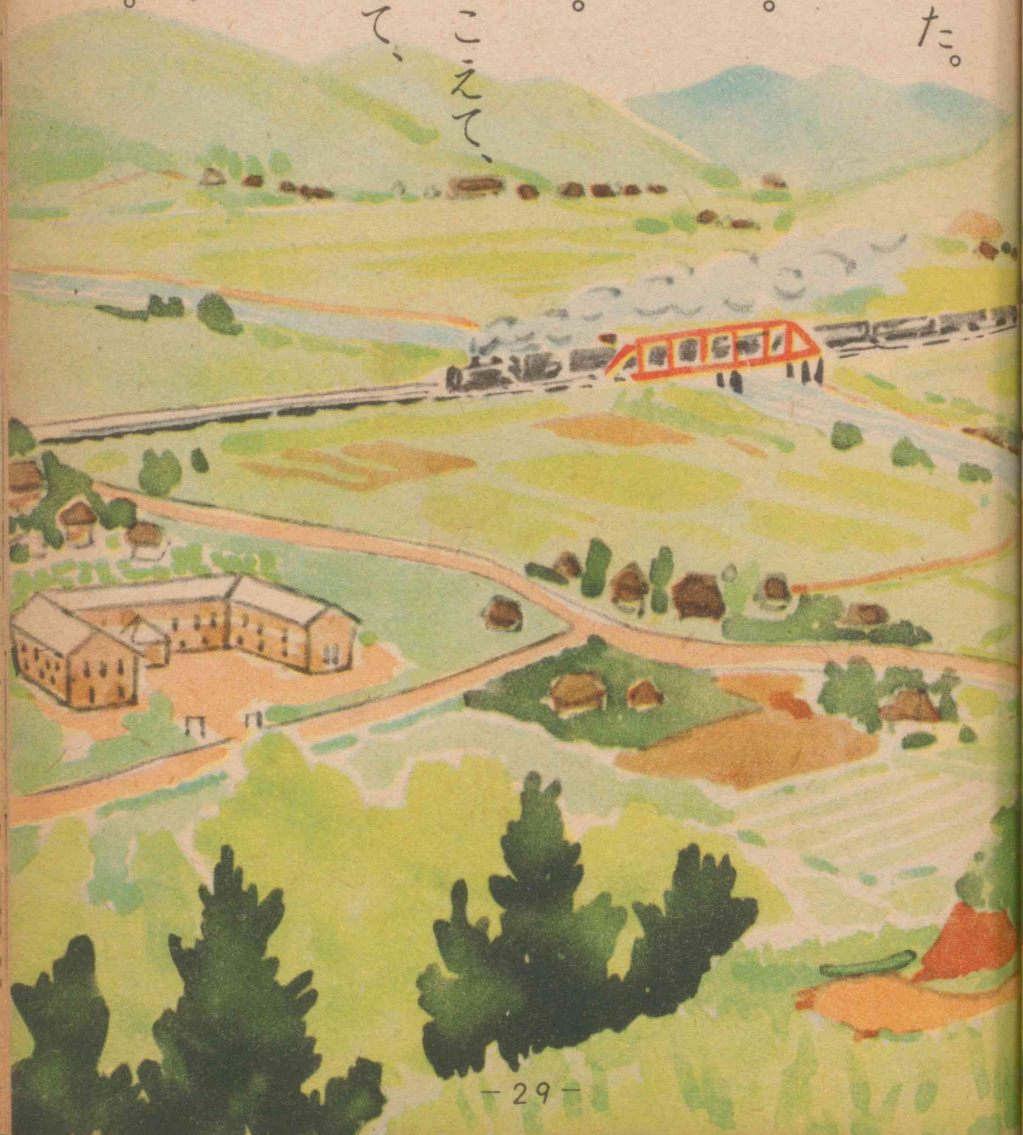
あちらの
 やまも、
 あおばの
 やま。
 あちらの
 こちらの
 やまも、
 あおばの
 やま。

やまの うえで、
おむすびを たべました。

むらが
みえました。
がつこうが
みえました。
かわも
みえました。
きしやが
てつきようを



とおりました。
ながい
きしやです。
はやい
きしやです。
のはらを こえて、
もう、
とんねるに
はいります。



(三) えんそくの おはなし

おとうさん。

やまを おりるとき

きしゃごつこを しましたよ。

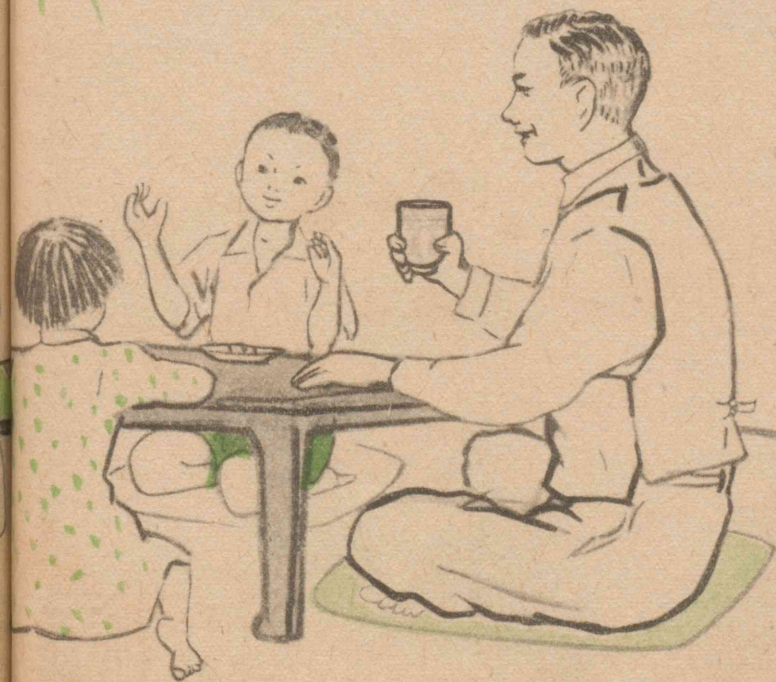
「しゅつ しゅつ ぽっぽ、

しゅつ ぽっぽ。」

と いいながら おりました。

せんせいが、きかんしゃに

なりましたよ。



おかあさん。

しげるさんは めだかを

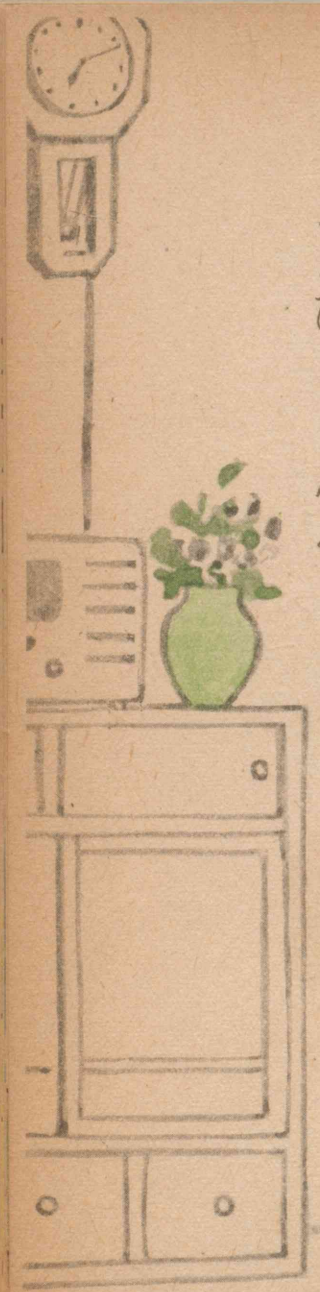
十ぴき とりましたよ。

わたしは ハひき とりま

した。

はるえさんは すべって、

ころびましたよ。



おかあさん。

きれいな ばすが とおり"

ましたよ。 おおきな ばす"

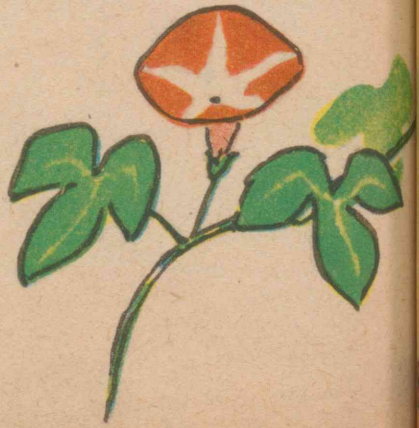
でしたよ。

ばすの おとに おどろいて、

あひるが とびだしましたよ。



四 なつやすみ



あやまちゃん
なつかみうみ
せんせい
よしお

(一) うみ

せんせい。
わたしは よしこと うみに
きました。
はまに でて あそびました。
よしこが みずを かけました。
わたしは ころびました。
わたしが わらいました。

よしこも わらいました。
すなの うえで あそびました。
すなに ちいさな あなが あ
りました。
かにが あなの なかに はい
って きました。
わたしは げんき です。
せんせい、 さようなら。

としお



(二) なみ

おおきな なみは

ざぶん

ざぶん。

ちいさな なみは

ざぶ ざぶ ざぶ。

あおい なみが

しろい なみに

なって、

すなの

うえを、

ざぶ ざぶ

はって くる。





(三) ほたる

ほたる こい、
 ほたる こい。
 あつちの みずは
 ながいぞ。
 こつちの みずは
 あまいぞ。
 ほたる こい、
 ほたる こい。



(四) につき

あめが やみました。
 もりの うえに、にじが
 できました。
 きれいな にじです。
 わたしは、
 「おかあさん。
 きれいな にじの はしよ。」
 といいました。

はたけへ いきました。

とまどが あちらにも こ

ちらにも なって いました。

よしこは、

「ひとつ、ふたつ、みつつ、

よつつ。」

と かぞえました。

わたしは、

「一、二、三、四、五、六、

七、八。」

と かぞえました。

みんなで、二十九 になって

いました。

あかい とまどを いつつ

とりました。





五、おはなししましよ



○
 のはらへ とんぼを とり
 に いきました。
 あかとんぼが すいすい
 とんで いきました。
 わたしは ゆびを まわし
 ながら あかとんぼを とり
 ました。三びき とつて か
 えりに はなして やりまし
 た。

(一) せんせいに する おはなし

○

せんせい。

わたしは、なつやすみに

おじさんの うちに いき

ました。

はたけの くさとりを

しました。

おじさんが、



「くさとりが うまいね。」
と 行って、ほめて くれま

した。
はたけで、とまとを たべ

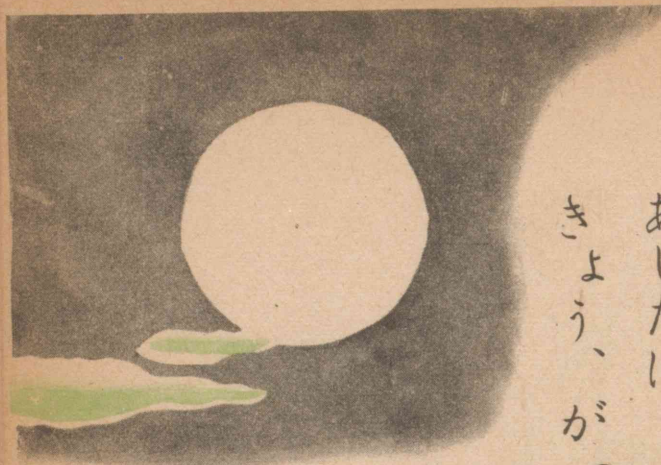
○

せんせい。

うちに うまが いますよ。

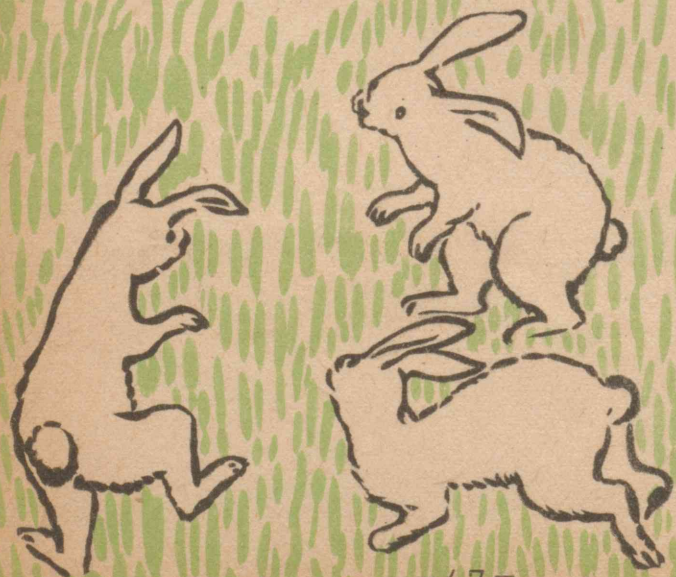
ぱか ぱか ぱか ぱか

と はしりますよ。



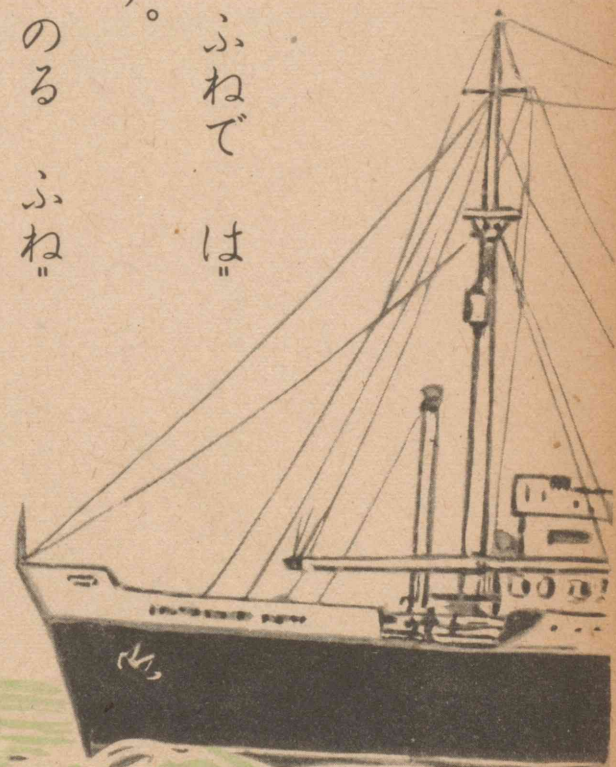
おかあさん。
あしたは 十五や でしょう。
きょう、がっこうで、「うさぎ

うさぎ」のう
たを うたいま
したよ。
うたって み
ましようか。



(二) おかあさんに する おはなし

せんせい。○
おとうさんは、ふねで は
たらいて います。
おとうさんの のる ふね
は おおきな ふねですよ。
おとうさんは、ふねの お
はなしを して くれますよ。





(三) ともだちと する おはなし

「としおさん、

かけっこ しようか。」

「どこまで かけるの。」

「はしまでに しよう。」

「よし、しよう。」

「しよう、しよう。」

「一、二、三。」

○

「はるえさん。

きょう、あそびに いらっしやいよ。」

「ええ。」

おかあさんに おはなししてから いくわ。」

「えを かいて あそびましょうよ。」

「わたし、ぬりえと えほんを

もって いくわ。」



(四) えほんのおはなし



にくを くわえた

いぬ

にくを くわえた いぬが

はしの うえまで きました。

したを みると、かわの

なかにも にくを くわえた

いぬが います。

その にくも たべた
くなりました。

いぬは、

「わん。」

と ほえました。

くわえて いた にく

が かわの なかに お

ちて しまいました。



しろと ぼうし

よい てんきです。

としおさんの ぼうしが のは
らで、ひるねを して いました。

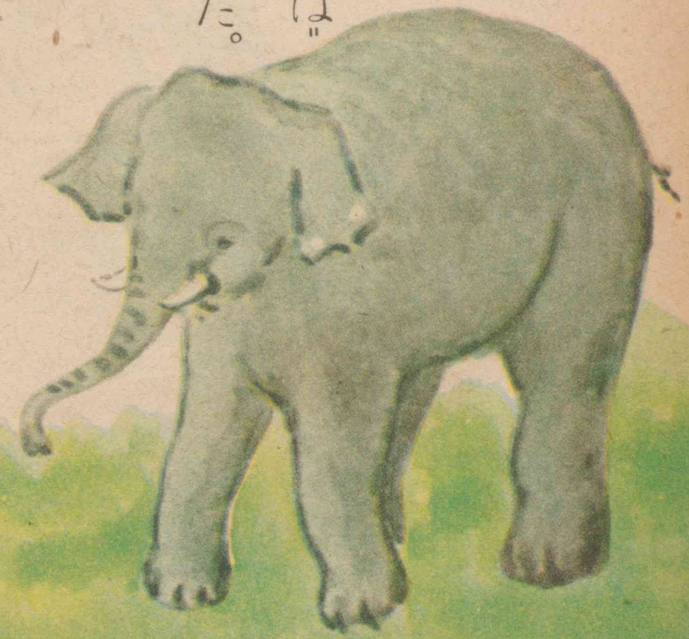
どしん どしん。

おおきな ぞうが ききました。

「おや、おや。」

こんな ところに、くつが おちて いるぞ。」

と いました。



のそり のそり

こんどは くまが あるいて ききました。

「おや、おや。」

こんな ところに、ちゃわんが おちて

いるぞ。」

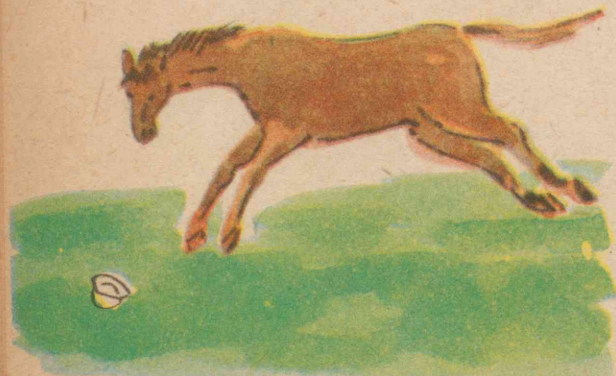
と いました。

ぱか ぱか ぱか ぱか

こんどは うまが はしって ききました。

「おや、おや。」

こんな ところに、ばけつが おちて



いるぞ。」

と いました。

おしまい、しろが きました。

ぼうしのおいを かぎまし

た。

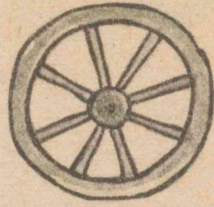
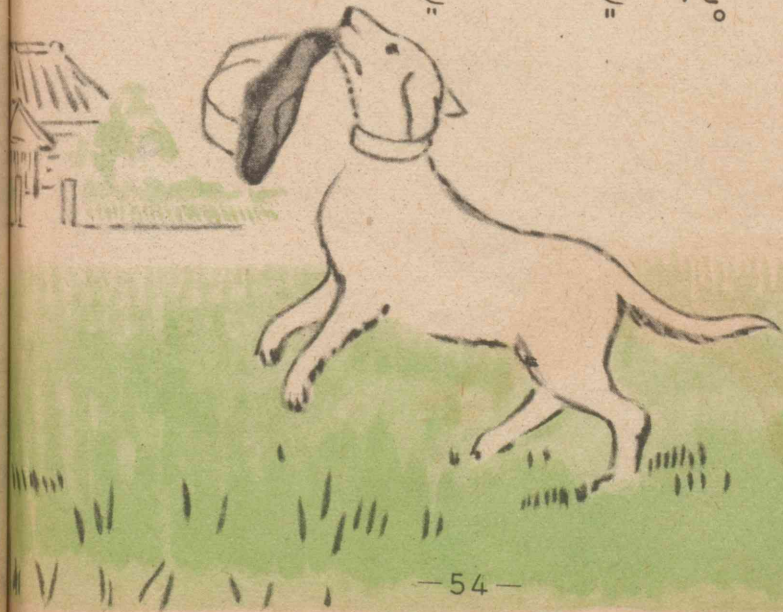
「これは としおさんの ぼうし

だ。」

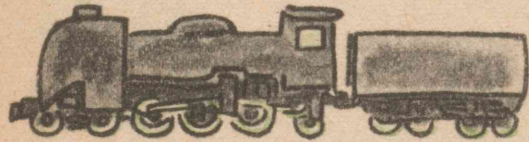
しろは、ぼうしを くわえて、

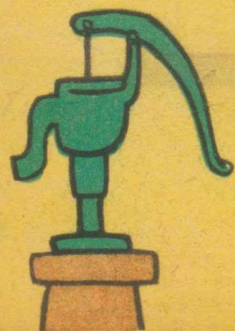
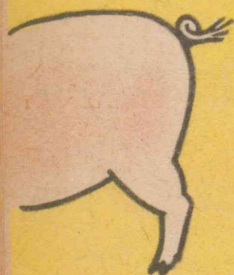
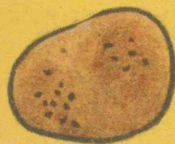
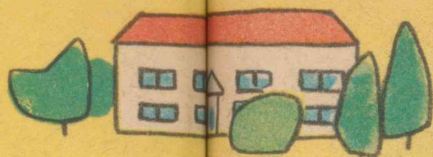
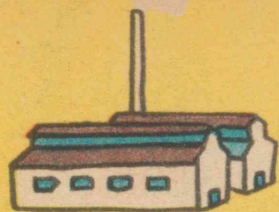
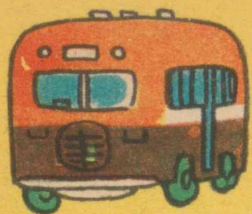
としおさんの うちへ かけて、

いきました。



六 ことばあそび





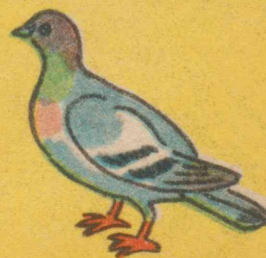
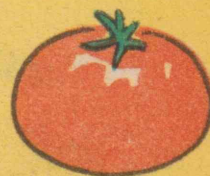
「こうば」
 「ばす」
 「すべりだい」
 「いし」
 「しっぽ」
 「ぼんぷ」

「とまと」
 「とんねる」
 「る、る……」

○ 「みけ」
 「けが」
 「がっこう」
 「……」

○ 「はさみ」
 「みんな」
 「なのは」
 「はと」

(一) しりとり



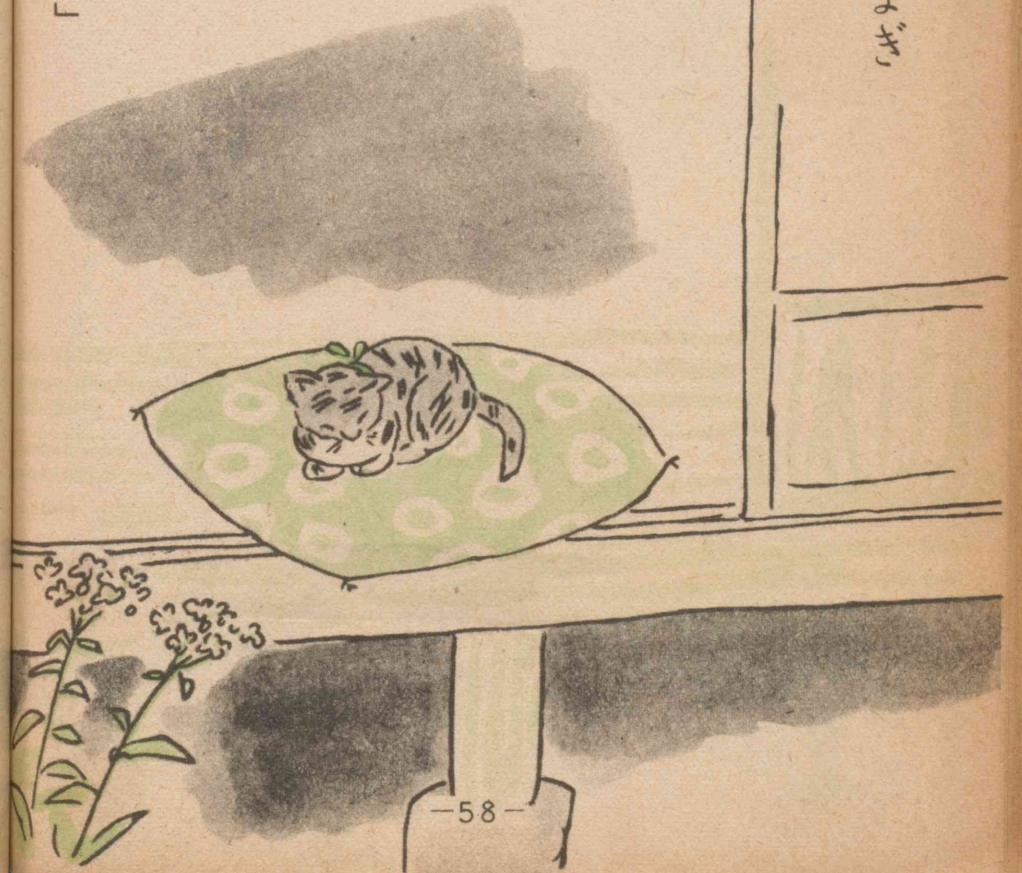


はるえ 「おじさんの うちへ」
 としお 「いきました。」

よしこ 「きょう」 ○
 しげる 「わたしは」
 はるえ 「しげるさんと」
 としお 「やまへ」
 よしこ 「いって」
 しげる 「くりを」
 はるえ 「ひろいました。」

(二) ことばつなぎ

○
 はるえ 「こねこが」
 としお 「えんがわで」
 よしこ 「ひるねを」
 しげる 「して います。」
 ○
 としお 「おとうさんは」
 よしこ 「きのう」
 しげる 「きしやに のって」



とうもろこし
 じゃがいも
 きんぴら
 しんぶんし
 もう ありませんか。

(四) おもしろい ことば



あ か い は な

え ほ ん
 た る



つ や す み

(三) もじならべ

あ
 め
 に じ が で る
 や
 む

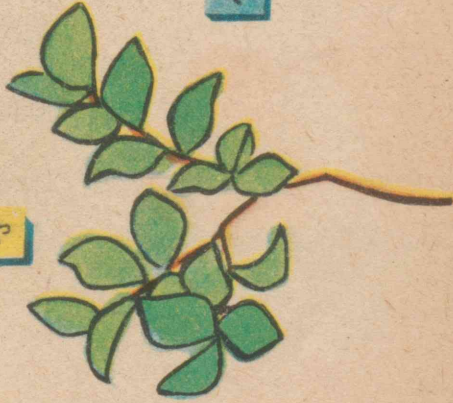
に じ が で る



や
 あ お は
 や

ち
 や
 わ

き か ん し や





まだ ありませんか。

はしる はいる

はたらく

はたけ はやい

はるえさん

はな はし

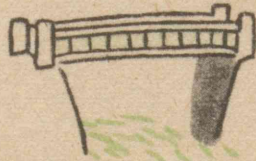
はさみ

「は」のつくことば、

まだ ありませんか。

かえります

かけっこ かきます かぞえます



「か」のつくことば
かわ かぜ かみ

まだ ありませんか。

あるく あちら

あかい あまい あそぶ

あめ あおば あした

「あ」のつくことば、

(五) 「あ」のつくことば



ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
あ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い	
う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	
え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え	
を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	

ぱ	ば	だ	ぎ	が
び	び	ぢ	じ	ぎ
ぶ	ぶ	づ	ず	ぐ
ぺ	べ	で	ぜ	げ
ぽ	ぼ	ど	ぞ	ご

ぴ	び	ぢ	じ	ぎ	り	み	ひ	に	ち	し	き
や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や
ぴ	び	ぢ	じ	ぎ	り	み	ひ	に	ち	し	き
ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ
ぴ	び	ぢ	じ	ぎ	り	み	ひ	に	ち	し	き
よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ

かけっこを
 しました。

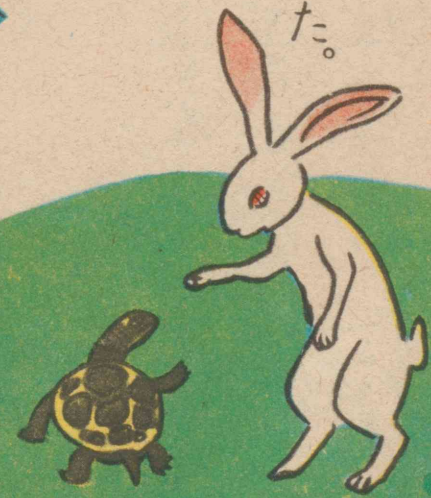
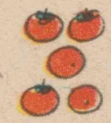
と
 が
 あちらの
 まで

は
 の
 の
 したで、

を
 取りました。

に
 のった
 ゆめを
 みました。

(六) えの
 ある
 おはなし



おけいこ

このほんには、としおさんの おはなしが
たくさん できます。
としおさんは 一ねんせい です。としお
さんの うちには、まことに あります。すぐ
ちかくに むらが あります。としおさんの
うちの ひとは、おとうさん、おかあさんと、
よしこさん という むつつに なる いも
うと、けんちゃん という よつつに なる
おとうと、みんな、五にん です。
しろ という いぬや、みけ という ね
こが かって あります。

一 たのしい がっこう

- (1) おおきな こえで よみました。
- (2) えをみて、がっこうの おはなしを
しました。
- (3) 「ちようちよう、ちようちよう」のうた
を うたいました。ゆうぎも しました。

っているのですか。

- (4) ともだちと あそんだ ことを、みんな
わすれないで、おはなししました。えや
もじにも かきました。

三 えんそく

- (一) あしたは えんそく
- (1) えんそくの じかんや、もって いく
ものを わすれないように、おぼえちよう
に かきとめて おきました。
- (2) あしたの てんきは どうかしら。らじ
おを ききました。
- (二) きょうは えんそく
- (1) めずらしい ことを よくみて おき
ました。
- (2) おもしろかった ことを よく おぼえ
ておきました。
- (三) えんそくの おはなし
- (1) うちに かえったら、えんそくの おは
なしを みんな おもいだして、しまし

う。

- (4) あさ、せんせいや ともだちに あった
ら、おおきな こえで「おはよう ござい
ます」と いいます。かえる ときは、
「さようなら」と いいます。

- (5) がっこうで、した こと、みた こと、
きいた ことを みんな おはなしできる
ように なりました。せんせいに おは
なししました。うちの ひとにも おは
なししました。

その おはなしを、えに かいたり、も
じで かいたり しました。

二 ともだち

- (1) がっこうの かえりみちで なにをし
て いますか。
- (2) 「もう いいかい」は、なんべんも、よみ
ました。そらで いえるまで、よみました
う。
- (3) 「がっこうごっこ」は、いま なにをし

う。

- (2) えに かいたり、もじで おはなししま
しう。

四 なつやすみ

- (一) うみ
- (1) どなたに だした てがみですか。
- (2) (1) なつやすみの ようすを、はがきに か
いて、せんせいや ともだちに しらせま
しう。
- (二) なみ
- (1) うみへ いった こと、いなかへ いった
こと、おさらいをした こと、おて
つだいを した ことを みじかい おは
なしに しました。
- (三) つき
- (1) まいにち、つきを かきました。え
も かい、えにつきに しました。
- 五 おはなししました
- (1) なつやすみの こと、うちの こと、お

ばす	32	まで	48
はたけ	40	まわし(ながら)	42
はたらい(て)	46		
はって	37	みず	34
はと	56	みつつ	40
はなす	42	みましようか	47
はま	34		
はるえさん	9	むつつ	12
		むら	27
ひき	31		
ひとつ	40	めだか	24
ひるね	52		
ひろい(ました)	59	もう	17
びょん	10	もじ	60
		もって	49
ふたつ	40	もり	27
ふって	20		
ふね	46	やおや	60
		やみ(ました)	39
ほえ(ました)	51		
ぼうし	52	ゆめ	64
ほたる	38	ゆび	42
ほめて	45		
ぼんぶ	57	よい	52
		よつつ	12
まあだ	17		
(いって)まいます	23	わたし	20
また	25	わらう	34

てつだいの	こと、あそんだ	こと	なん												
でも	みんな	せんせい	に	おはなししま											
しよう。	に	こに	こしながら、	はきはき	お										
はなし	しよう。														
(2)	が	つこう	で	した	ことを、	みんな	お								
あ	さんに	お	はなし	して	います	か									
(3)	とも	だち	ど、	どんな	お	はなし	を	しま							
す	か。	お	はなし	した	まま	を	か	いて	お						
く	ど、	お	もしろ	い。											
(4)	え	ほん	を	た	く	さん	よ	み	ま	し	よ	う。			
お	もしろ	い	お	は	なし	は、	せん	せい	に	も	お				
か	あ	さん	に	も	とも	だ	ち	に	も	お	し	え	て		
あ	げ	ま	し	よ	う。										
(5)	に	く	を	く	わ	え	た	い	ぬ	は、	に	く	を	ど	
う	して	し	ま	い	ま	し	た	か。							
(6)	「し	ろ	と	ぼ	う	し	」	で	は						
○	い	ち	ばん	は	じ	め	に	だ	れ	が	き	ま	し	た	か。
○	そ	の	つ	ぎ	に	は	だ	れ	が	き	ま	し	た	か。	
○	三	ば	ん	め	に	は	だ	れ	が	き	ま	し	た	か。	

○	お	し	ま	い	に	き	た	の	は	だ	れ	で	す	か。				
○	し	ろ	は	ど	う	い	い	ま	し	た	か。							
六	こ	と	ば	あ	そ	び												
(1)	が	つ	こ	う	で	も	う	ち	で	も、	と	も	だ	ち	と	も、		
「	し	り	ど	り	」	や	「	こ	と	ば	つ	な	ぎ	」	を	し	て	
あ	そ	び	ま	し	よ	う。												
(2)	も	じ	ば	ん	を	つ	く	つ	て、	も	じ	な	ら	べ	を			
し	ま	し	よ	う。	ど	ち	ら	か	ら、	よ	ん	で	も	お	な			
じ	こ	と	ば	も	も	じ	ば	ん	で	な	ら	べ	て	み				
ま	し	よ	う。															
(3)	「	あ	」	「	い	」	「	う	」	「	え	」	「	お	」	の	つ	く
こ	と	ば	を	あ	つ	め	ま	し	よ	う。	か	あ	ど	も	つ			
く	つ	て、	え	も	か	き	ま	し	よ	う。								
(4)	「	え	の	あ	る	お	は	なし	」	を	か	い	て、	ど				
も	だ	ち	と	み	せ	あ	い	ま	し	よ	う。							

かき(ました)	8	ことば	55
かぎ(ました)	54	こねこ	58
(水を)かける	34	これ(は)	54
かけっこ	48	ころぶ	31
かける	54	こんど(は)	53
かぜ	62	こんな	52
かぞえ(ました)	40	ざぶざぶ	36
がっこう	4	ざぶん	36
かに	35	さようなら	14
かみ	16	十五や	47
(して)から	49	しげるさん	18
きかんしゃ	30	した	50
きつつき	61	しっば	20
きょう	23	しまい(ました)	51
きれいな	32	じゃんけんぼん	16
くさとり	44	しりとり	56
くつ	52	しろい	12
くま	53	すいすい	42
くり	59	すな	35
(ほめて)くれました	45	すべりだい	6
くわえ(た)	50	すべる	6
けが	56	せんせい	14
げんき	35	ぞう	52
こうば	57	その	51
こちら	26		

(たべ)たくなり(ました)	51	どんぼ	42
たべ(ました)	28	なか	35
ちいさな	35	(し)ながら	25
ちょうちょう	11	なく(ては)	19
ちやわん	53	なつやすみ	33
つく	62	なのは	11
つなぎ	58	なみ	36
てっきょう	28	ならべ	60
てんき	52	なり(ました)	30
てんしゃ	8	にいさん	13
と(い)いました)	10	におい	54
(よし)と	34	にがい	38
とおって	24	にく	50
どこ	48	にじ	39
ところ	52	にっき	39
としん	52	ぬりえ	49
とって	24	のそり	53
とびだす	32	のる	46
とまと	40	はい	18
ともだち	15	はいり(ます)	29
とんで(いました)	42	ばかばか	45
とんねる	29	ばかり(では)	19
		ばけつ	53
		はさみ	16

Copyright 1949, by
The Nihon Shinkyōiku Kenkyukai

All rights reserved

The text of this publication or any part thereof
may not be reproduced in any manner whatsoever
without permission in writing from the authors.

小国114

Approved by Ministry of Education
(Date Oct. 22, 1949)

編者 東京都大田区雪ヶ谷町
財団法人 清明学園初等学校内
日本新教育研究会
理事 濱野重郎
編修長 照井猪一郎

担当執筆者
成蹊小学校 主事 滑川道夫
成城学園小学校 主事 馬場正三
成蹊小学校 主事 中村芳造
盈進学園 主事 佐藤勝茂
学習院初等科 教諭 杉山榮子
同 学 院 初 等 科 教 諭 石澤芳子
東洋英和女学院小学部 教諭 中尾三彰

表紙とさしえ
中尾三彰

原作者 「しろとぼうし」
奈街三郎

昭和二十四年七月八日 印刷
昭和二十四年七月十二日 發行
昭和二十四年十月二十二日 再版印刷
昭和二十四年十月二十六日 再版發行

定 價 円 錢

著者 財団法人 日本新教育研究会
會長 高橋誠一郎

發行者 学校図書株式会社
代表者 川口芳太郎
東京都港区芝三田豊岡町八番地

印刷者 図書印刷株式会社
代表者 川口芳太郎
東京都港区芝三田豊岡町八番地

發行所 学校図書株式会社
東京都港区芝三田豊岡町八番地

あたらしく できた ことば

あおば	26	うた	47
あした	22	うたい(ました)	47
あそび(ました)	24	うち	44
あちら	26	うま	45
あな	35	うまい(な)	8
あひる	32	うみ	34
あまい	38	うれしい	22
あめ	39		
あら	13	え	8
あり(ました)	35	えほん	49
あるき(ました)	25	えんがわ	58
		えんそく	21
いいかい	16		
い(ました)	10	おおきな	36
いし	16	おかしい	19
いっつ	41	おじさん	44
いって(まいます)	23	おしまい	54
いぬ	50	おと	32
います	45	おはなし	13
(いって)いらっしやい	23	おむすび	28
(して)いる	13	おもしろい	61
		おやすみ	19
うえ	28	およい(で)	24
うさぎ	9	おり(ました)	30

広島大学図書

01 0130449925

